

経済学入門 -競争と市場の役割を学ぶ-

| | | |
|---|--|-------------------------------|
| 単位数 | ナンバリングコード | |
| 2 | DBA208 | |
|  | 教員名 | 伊藤 好一 |
| | 専門 | 地域経済学、非営利組織論 |
| | 出身校等 | 北海学園大学大学院経済学研究科経済政策専攻 博士（経済学） |
| | 現職 | 函館大谷短期大学ビジネス情報学科 准教授 |
| 授業形態 | | |
| 前期印刷授業・後期印刷授業 | | |
| 授業範囲 | 試験範囲 | |
| 教科書のp.1からp.240までと巻末の経済学基本用語解説と演習問題解答 | 授業範囲すべて 【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。 | |
| 科目の概要 | | |
| <p>日本は長く続く不況やコロナ禍を経てさまざまな経済問題が発生し、家計や企業は絶えず変化や対応が求められてきました。今後も経済問題は発生し続けるでしょう。先が見えないこれからの時代に活躍するためには経済問題を分析し、本質を捉え、対応できる“力”が求められます。本講義では、家計や企業の経済行動に対して市場メカニズムを基に分析するミクロ経済学の基礎を学修します。市場メカニズムを理解しつつ、家計や企業の経済行動について分析ができるようになることを目指します。</p> | | |
| 授業における学修の到達目標 | | |
| ①ミクロ経済学の基礎と考え方を理解すること。 ②家計と企業の経済行動および市場メカニズムについて分析して説明できるようになること。 | | |
| 講義の方針・計画 | | |
| <p>この講義では、教科書『経済学入門（第4版）』のミクロ経済学パートについて学習します。全15回を以下の内容で学習します。</p> <p>第1回：イントロダクション：ミクロ経済学とはどのような学問か？ 第2回：需要曲線と消費者行動：需要曲線・消費者余剰とは？ 第3回：供給曲線と費用の構造 第4回：利潤最大化と供給行動 第5回：需要・供給分析とその応用 第6回：市場取引と資源配分① 市場と価格メカニズム・余剰分析 第7回：市場取引と資源配分② 資源配分のゆがみ・市場競争 第8回：独占と競争の理論① 独占の理論 第9回：独占と競争の理論② 独占的競争 第10回：市場の失敗① 外部性 第11回：市場の失敗② 公共財・費用逓減産業 第12回：不確実性と不完全情報① 不確実性と経済現象</p> | | |

| |
|---|
| 講義の方針・計画 |
| <p>第13回：不確実性と不完全情報② 不完全情報の経済学 第14回：ゲーム理論① 囚人のジレンマ 第15回：ゲーム理論② ゼロサムゲーム・協調のメカニズムなど</p> |
| 準備学習 |
| <p>印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。</p> |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 |
| <p>印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。</p> |
| 成績評価の方法およびその基準 |
| <p>科目試験による評価100%</p> |
| 教科書 |
| <p>書名：入門経済学（第4版） 著者名：伊藤元重 発行所：日本評論社 ISBN：9784535558175 （電子書籍は不可とする）</p> |
| 参考書 |
| <p>なし</p> |
| その他 |
| <p>なし</p> |
| 試験期間 |
| <p>シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2026学年暦」を参照</p> |
| 学習プリント |
| <p>あり</p> |
| 教職科目 |
| |
| 関連受講科目 |
| <p>現代経済学</p> |
| 担当教員の実務経験 |
| <p>実務経験なし</p> |